

舞鶴市の財政状況



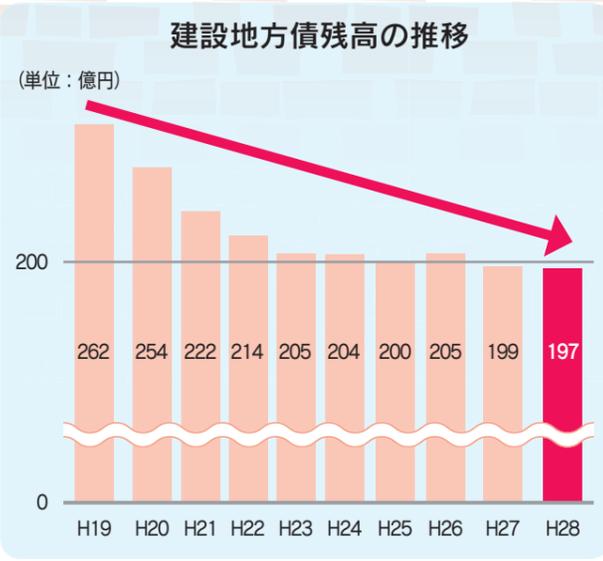
「まいづる家」のローン～市債の状況～

まいづる家が借り入れているローンには、家の増改築などの費用を補う「建設地方債」と、給料などの収入の不足を補う「臨時財政対策債」があります。

左のグラフは、建設地方債の残高を表しています。返済額よりも借入額を少なくすることで、目標である「借入残高 200 億円」以下になるように努めています。

なお、「臨時財政対策債」については、平成 28 年度の残高は 160 億円となっていますが、返済のための資金は国が手当てしてくれるので、実質的な市の負担はありません。

計画的にローンを活用することで、その年の費用負担を少なくするだけでなく、長い間使う公共施設などは、将来、施設を利用する次の世代にも公平に費用負担をしてもらうことができます。



「まいづる家」の貯金～基金の活用～

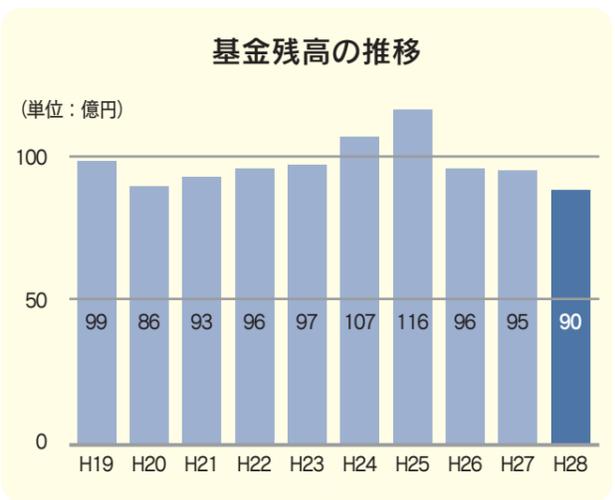
「基金」とは、まいづる家に例えると、突然の出費や家の建て替えなどに備えた貯金のことです。

平成 28 年度は、安心・安全のまちづくりや市が飛躍するための取り組みの財源として「都市開発推進基金」や「財政調整積立金」などの基金を活用しました。

一方で、新たに「公共施設等整備基金」を設置し、施設の老朽化などによる建て替えや修繕に備えた貯蓄をしています。



将来のための投資などに貯金を活用する一方で、計画的に貯蓄もしています。



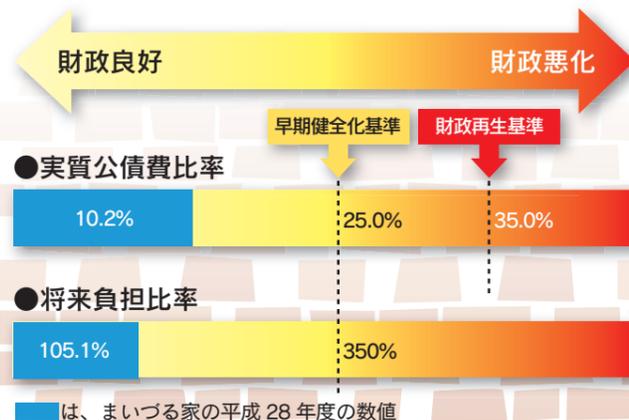
「まいづる家」の家計の将来見通し～財政の健全性を示す2つの指標～

財政の健全性を示す指標には、「実質公債費比率」と「将来負担比率」があります。

家計に例えると、「実質公債費比率」は、年収に占めるその年のローン返済の割合を表したものです。

「将来負担比率」は、将来返済が必要なお金が年収に対してどの程度あるかを表したものです。

どちらの数値も危険水準（早期健全化基準）を大きく下回っており、まいづる家の家計は健全な状態にあると言えます。



「まいづる家」の家計簿～平成 28 年度決算の状況～

舞鶴市の決算や財政状況を、分かりやすく家計簿に例えながら説明します。

平成 28 年度一般会計の歳入決算額約 356 億円と歳出決算額約 353 億円を、収入 35 万 6 千円と支出 35 万 3 千円に例えています（1 億円を「1 千円」、昨年度の決算額との比較は「先月との比較」）。

収入 (市の財政にあてはめると)	金額 (先月との比較)
自分の給料 (市税、地方交付税など)	216,500 円 (9,500 円↓)
親からの援助 (国・府支出金)	89,000 円 (4,000 円↑)
家賃収入 (分担金、財産収入、使用料など)	10,000 円 (± 0 円)
臨時収入 (寄付金、諸収入)	12,500 円 (500 円↑)
前月からの繰り越し (繰越金)	4,000 円 (1,000 円↑)
貯金の取り崩し (繰入金)	6,000 円 (4,000 円↑)
ローンによる借り入れ (建設地方債)	18,000 円 (3,000 円↑)
計	356,000 円 (3,000 円↑)

支出 (市の財政にあてはめると)	金額 (先月との比較)
食費 (人件費)	67,000 円 (± 0 円)
医療費 (扶助費)	82,000 円 (2,000 円↑)
光熱水費や日用品の購入 (物件費)	42,000 円 (2,000 円↓)
子どもの教育費や仕送りなど (補助費等、出資金貸付金、繰出金)	75,500 円 (500 円↓)
家の増改築や修繕費 (建設事業費、維持補修費)	51,000 円 (4,000 円↑)
貯金 (積立金)	1,500 円 (500 円↑)
ローンの返済 (公債費)	34,000 円 (± 0 円)
計	353,000 円 (4,000 円↑)

今月の「まいづる家」は、自分の給料が先月よりも少なくなったことから、食費をはじめ、光熱水費や日用品の購入などの必要経費がこれ以上増えないように節約に努めました。

一方で、老朽化した家の増改築や修繕、家族の医療費に必要な支出が増えたことから、親からの援助や貯金の取り崩しのほか、ローンによるお金の借り入れでこれらの支出をまかないました。

※「まいづる家」のエンゲル係数(経常収支比率)⇒96.5%(前年度との比較:3.0%増)

※エンゲル係数(経常収支比率)とは…給料などの必ず得られる収入から、食費や医療費、光熱水費など、生活に必要な費用がどの程度支出されているかを表した指数

「まいづる家」のみんなが安心して暮らすための家の修繕費や医療費のような、簡単には減らせない支出が増えています。お金の使い方を工夫し節約に努めながら、まいづる家の給料が増えるような取り組みを進めていきます。



特別会計・企業会計 決算状況

【特別会計】

会計名	収入	支出	基金残高	市債残高
国民健康保険	103 億 1,371 万円	101 億 6,965 万円	4 億 3,660 万円	—
介護保険	76 億 6,540 万円	74 億 5,721 万円	6 億 6,391 万円	—
後期高齢者医療	11 億 7,382 万円	11 億 6,632 万円	—	—
土地建物造成	3,709 万円	3,709 万円	—	—
貯木	42 万円	42 万円	8,826 万円	—
駐車場	1 億 545 万円	8,535 万円	5,800 万円	—
簡易水道	6 億 2,883 万円	6 億 1,522 万円	8,375 万円	17 億 6,453 万円
下水道	46 億 3,126 万円	46 億 2,982 万円	5,728 万円	288 億 5,970 万円

※簡易水道会計と下水道会計の市債については、利用料収入から返済するほか、一部は一般会計の繰入金から返済しています。

【企業会計】(税抜き)

会計名	収益	費用	当年度純利益 / 純損失
水道事業	16 億 5,187 万円	14 億 9,739 万円	1 億 5,448 万円
病院事業	12 億 8,882 万円	16 億 5,039 万円	△3 億 6,157 万円

※病院事業については、旧病院資産などの処分に伴い、簿価との差額を特別損失として計上したため、当年度純利益は 3 億 6,157 万円の赤字決算となったものです。